

【樹木の部屋】

ボタン（ボタン科ボタン属 *Paeonia suffruticosa*）

和名；ボタン **別名**；富貴草、富貴花、百花王、花王、花神・他 **英名**；ピオニー
ビワモドキ目 落葉広葉低木

原産地；中国

花言葉；壮麗、恥じらい、高貴、富貴

花の色；赤・桃・黄・白・紫・黒



⇒ 写真－1 ボタンの花

撮影日：2004年4月18日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

10年ほど前に石光寺に訪れた際、境内のお店で購入。

植え付けて5～6年は毎年、楽しませてくれましたが、地際からムシが入ったようで、突然、倒れてしまいました。

写真－2 ボタンの花 ⇒

撮影日：2010年4月24日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

10年ほど前に石光寺に訪れた際、境内のお店で購入。相変わらず、大輪を咲かせています。当初は赤一色でしたが、いつごろからか白色が混ざる現在の色に……。(1)と並べて植えていたため、これの影響か？それとも元々その性格を受け継いでいたのか？。。。。。



【樹木の部屋】

写真-3 ボタンの花 ⇒

撮影日：2010年4月24日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

4年前に、島根県の大根島・由志園を訪れた際、購入したもので、園芸品種名は「王冠」。なんとかのショーでかなり上位の賞を頂いたとかで、これにつられて購入。購入した翌年は見事に咲いてくれましたが、昨年、今年と花芽が着きませんでした。

剪定ミかも・・・。

(1) (2) (3) 毎年同じ剪定をしています、(3) だけは花芽が着きません。なぜかな？



ボタンの剪定は、以下の3点に注意しています。

- ① 開花による養分の消費を抑えるために花が咲き終わる前に、早い目に花がら(花がらまでには至っていないケースがほとんど)摘みを・・・。
- ② 葉による光合成を充分に行わせ、新しい養分を蓄えさせるために。花がら摘み後、できる限り多くの葉を残す・・・。
- ③ 樹高を低く抑えたい場合は対象の枝を望む高さまで切戻し、放置しても構わない枝は花がらのみ摘み取る。

<ちょっと一言>

ボタンは、以前はキンポウゲ科に分類されていましたが、おしべ・花床の形状の違いから現在はシャクヤクとともにビワモドキ目に編入され、独立のボタン科とされています。

流通する苗のほとんどは、**芍薬を台木に接ぎ木**にしたものです。

春に台木から芍薬の芽が伸びてくるが、これはすぐに摘み取ります。放置すると接木された牡丹の生育の妨げとなり、最悪の場合、牡丹が枯死して完全に芍薬の株に戻ってしまいます。